

1 大会山域について

今回の大会山域である三郡山地は、九州の北部を連なる筑紫山地(つくしさんち)の一部であり、かつての糟屋(かすや)、筑紫(ちくし)、嘉穂(かほ)の3郡の境界に位置する三郡山を主峰とし、おもに中生層の花崗(かこう)岩や三郡変成岩からなる山地である。断層山地であるため高度のわりには古くから交通障害となってきたが、現在では主要道路が犬鳴峠(いぬなきとうげ)、八木山峠(やきやまとうげ)、冷水峠(ひやみずとうげ)を越えて福岡地区と筑豊地区を結んでいる。

今回のルートは三郡山地を北から南へ縦走し若杉山(681m)、砥石山(828m)、前砥石(805m)、三郡山(935m)を登頂する。

若杉山山頂付近には若杉山奥の院・太祖宮(たいそぐう)がある。奥の院には善無畏三蔵(ぜんむいさんぞう)という僧が念力で押し開いた袖摺岩(別名:はさみ岩)と呼ばれる岩があり、悪人は通り抜けることができないという言い伝えがある。若杉林道周辺は樹齢200年を越えるスギに覆われている。古くからの山伏の聖域として、数百の僧坊(そうぼう)があったと言われている。この若杉山の中腹に古堂(ふるどう)と言われる場所があり、そこには昔「大講堂」が建てられ、多くの真言宗の僧侶が修行をしたと伝えられている。その「古堂」の奥の鬱蒼とした場所に、今でも「揺るぎ岩」と言われる背丈を越えるほどの大きな岩がある。

他にも福岡市内が一望でき、グライダー基地がある米の山(593m)、幕営地から最も近い岳城山(381m)、宝満山(829m)などの山があり特に宝満山は県内でも人気がある山である。

宝満山は古くから霊峰として崇められ、山頂の巨岩上に竈門(かまど)神社の上宮があり、全山花崗岩で、英彦山、脊振山と並ぶ修験道の霊峰である。山頂の眺望は抜群で視界がよければ英彦山・古処山・馬見山・くじゅう連山・雲仙岳まで遠望できる。

宝満山は別名で、筑紫野市の二日市方面から望むと「笠」の形に見えることから「御笠(みかさ)山」とも呼ばれ、ふもとは日本書紀にも記される三笠の森の史跡がある。また、九合目にある竈門岩、もしくはカマドのような形をしていて、常に雲霧が絶えず、それがちょうどカマドで煮炊きをして煙が立ち上っているように見えることから「竈門山」といわれる。生物では5月ぐらいから野々道(ののみち)池で生まれたヒキガエルの子供が10万～100万ともいわれる数で山頂を目指して跳びはねているのが有名になっている。さらにそのヒキガエルを狙ってヤマカガシが5合目付近に生息している。

宝満山を水源とする河川には博多湾に流れる御笠川、多々良川に合流して博多湾に流れる宇美川、筑後川に合流し有明海に流れる宝満川がある。

一本松公園(昭和の森)は宇美町大字宇美字正楽にあり三郡山の麓、標高300mにある森林自然公園である。福岡県森林浴100選にも選ばれ、春から初夏にかけて桜、つつじ、ツクシシャクナゲ、秋は紅葉、冬は椿などが咲く。

河原谷(ごうらだに)溪谷を登れば、標高720m付近の難所ヶ滝(なんしよがたき)にたどり着く。1月から2月にかけて、岩から染み出た水や雪が融けた水が岩肌をつたいながら凍って氷結し、寒気が強まる時期が続くと高さ20mもの見事な大つららになることもある。

大会山域の植生として標高が低い場所では照葉樹のスダジイ、標高500mからはアカガシ、標高700mからブナが特に多くみられる。ルートガイド以外の樹木としてヤブツバキ、アオキ、エゴノキ、ハイノキ、ヤブデマリ、ウリハダカエデ、タンナサワフタギ、イロハモミジ、シロダモ、シャクナゲがある。

林床にはツルシキミ、ギンリョウソウ、ナルコユリ、ミョウガ、ヤブニンジン、リョウメンシダ、ウラジロ、シシガシラ、リンドウ、カンアオイ、マムシグサなどがある。

2 荒天対策

5月6日に起こった場合

	地震（震度5以上）	台風・気象警報以上	大雨注意報・雷注意報
5月6日	大会中止・早期帰宅準備	行動中止	通常行動またはルート短縮
5月7日	帰宅完了	通常行動	通常行動

5月7日に起こった場合

	地震（震度5以上）	台風・気象警報以上	大雨注意報・雷注意報
5月7日	大会中止・早期帰宅準備	行動中止・早期帰宅準備	通常行動またはルート短縮

3 大会コースのルートガイド（太字・下線は主要地点）

1日目

篠栗町総合運動公園【カブトの森公園】を出発する。県道543号線を右方向に進む。進み始めるとすぐ右側に太祖宮下宮がある。そのまま突き当たりまで500m程進み丁字路に突き当たると右折する。さらに舗装路を進んでいき川を渡り数十メートル進むと山道がある。ここが**若杉山登山口**である。登山口から進んでいくと左に若杉の湯へ行く道がある。そのまま直進していくとすぐに車道にでる。この車道を左折ししばらく進むと大きく右カーブする場所がありこのカーブの左側から急登のルートがあるので急登を登っていく。この分岐に普門院（ふもんいん）跡がある。このまま進んでいくと左の山道に入る。しばらく進むとレストランがありここで一度車道に出るがレストランの左側から再び山道に入る。このまま山道を進んでいくと楽園キャンプ場に到着する。ここは整地されており、西側が開け博多湾も見える。楽園キャンプ場を右に進んでいくと幕営地である**BBBASE** キャンプ場に到着する。ここはスギに囲まれたキャンプ場で金剛頂院の場所を利用している。



篠栗町総合運動公園



BBBASE キャンプ場（金剛頂院）

2日目

BBBASE キャンプ場を出発する。車道を左方向へ山頂目指して進むと200mぐらいで右側にある階段を上がり舗装路を進む。山頂までの舗装路の区間はスギ林になっている。現在一般の車は進入禁止で苔が生えている部分もあり滑りやすくなっているため怪我防止の為、舗装路が終わるまでは軍手を着用する事。しばらく進むと右側に落陽コース入口があり分岐となっている。直進が若杉山となっているので直進する。さらに進むと左に米の山、直進荒田（あらた）高原、右に若杉山の十字路になるので右の車道を進む。この区間もスギ林であるがアオキも点在している。山頂に向かって進んでいくと無線中継所がある**若杉山**に到着し、ここから本格的な登山道となる。若杉山を通過すると周辺にはシャガが群生している場所がある。さらに今回の大会後半ルートが一望できる若杉鼻を通過した後、急な下りとなるので注意して通過する。その後数回のアップダウンを繰り返して進んでいくと正面にピークが見え、このピークを右に巻くようにトラバースして再び尾根を下っていく。山小屋の横を通過すると**ショウケ越**に到着する。ここには陸橋が架かっていたが現在はなくなり左側から



県道60号線に架かっていた陸橋

県道 60 号線へ降り、走行中の車に注意して横断し再び登山道に入る。県道 60 号線は左が飯塚方面、右が宇美町方面となる。ここから鬼岩谷（きがんだに）と呼ばれる 773mピークまでは長い時間の登りとなる。また、登山道とは別に作業用の道があるのでルート間違えないように登って行く。**鬼岩谷**に到着すると右に宇美町方面への分岐があるが砥石山方面である直進の縦走路を進んでいく。一度高度を下げ再び登っていくと 828mの**砥石山**（といしやま）に到着する。山頂からは右側に宇美町の障子岳方面への分岐があるが前砥石方面へ直進する。再び高度を下げ鞍部付近まで来るとススキの草原があり、さらに山頂付近のミツバツツジの群生を通過しながら草原状の山頂になっている**前砥石山**に到着。他にツゲやヤマボウシ・シロモジも見られる。山頂からは南側及び西側の展望が開けている。縦走路をそのまま進んでいくと左側に内住峡（ないじゅうきょう）分岐を通過する。さらに左側が三郡山方面、右側に内ヶ畑ルートと書かれた**内ヶ畑分岐**があるので注意をしながら左側に進み三郡山を目指す。この辺りは高度が高くなるので特にブナが目立つ。この先は三郡山までに右側に昭和の森へのルートが2カ所あるが現在崩壊して使用禁止である。このまま進んでいくと複数の電波塔や航空監視レーダーが目前に見えてきて舗装路となる。すぐ左脇から三郡山山頂への分岐となるので左折するとすぐに**三郡山**に到着する。この区間はピストンとなるのですれ違う時は登りを優先で進もう。舗装路まで引き返し左へ進む。右側のフェンス沿いに進んでいくと直進の柚須原（ゆずはら）方面の舗装路と右側の宝満山方面の登山道となるので間違えないように宝満山方面の右へ進む。しばらく進むと右に頭巾山（とっきんやま）を經由して昭和の森へと進む分岐、さらに進むと右側に難所ヶ滝（なんしょがたき）を経て昭和の森へ進む分岐が2カ所あるが宝満山方面へ直進する。この稜線上にはアカシデ、イヌシデのシデ林やモミ林がある。しばらく進むと仏頂山への直進と右側に巻き道の分岐があるので巻き道を進む。巻き道の途中でさらに昭和の森方面へと進む右への分岐があるが宝満山方面へ直進する。そのまま進むと仏頂山から下ってきた登山道と合流するのでここを右に進む。正面に大きな岩壁が見えてくる。この岩壁の上が宝満山であるが左折し楞伽院山荘（りょうがいんさんそう）【旧宝満キャンプセンター】を目指す。下っていきとすぐに**楞伽院山荘**に到着する。ここには水場やトイレもありテント泊も可能である。この周辺にはミヤコワスレ、キンシバイが咲く。ここから女道といわれる登山道で中宮跡へと向かう。途中で2カ所左への分岐があるが中宮跡方面へ直進する。男道と合流するとすぐに**中宮跡**に到着する。中宮跡からは正面道をよく使われるが峰入りで混雑が予想されるので左側の行者道とも呼ばれる鳥峠（とりとうげ）方面へと向かう。入り口がわかりづらいので注意しよう。登山道から外れないように気を付けて進んでいくと途中右側に正面道への分岐さらに進むと左側にかもしか新道への分岐があるが直進していく。鞍部まで到着すると**鳥越峠**となる。直進が愛嶽山（おだけさん）方面、左にかもしか新道方面、右が車道経由の竈門神社方面となるので右に進む。



車道から右側宝満山方面へ



車道経由して竈門神社へ

しばらく進むと車道にでてこの車道を左に進む。さらに進むとヒキガエルの産卵地となる野々道池が右側に見えてくる。このまま車道を進むと左に登山道があるので左折し車道をショートカットする。再び車道にでて左へ下っていき左にある二つ目の橋を渡ると**竈門神社**に到着する。



左側前方の橋を渡る